学校番号	1202

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	「高校生の歌集　つどい」　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野と関係する音楽理論を年間通して学習します。
・様々な音楽表現を通して感性を高め、音楽文化の多様性を尊重する態度の形成をめざします。
・学習活動では個人活動以外に、合唱や少人数グループで合奏や創作課題に取り組みます。
・学習の到達度は、授業態度、ワークシート、実技テストおよび提出作品で評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①音楽を形作っている要素の働きについて実感を伴った理解による「知識」の習得と実践 ②音楽の多様性の理解 ③創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能（演奏・創作・言語化）を身につけ、作品に表すことができる。	①音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 ②それをどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。 ②粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整・試行錯誤・テスト・チェックすることができる。 ③各種提出物、作品の完成度。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	【斉唱】【歌詞の理解と表現】 校歌、歌集より 【楽典】 読譜にかかわる記号	a:楽譜に書かれた表現をもとに、曲種や表現形態に応じた発声を身につけている。 b:歌詞表現から曲想を感じとり、自己のイメージや意図をもって表現を創意工夫している。 c：主体的、協働的に歌唱練習・パート練習に取り組んでいる。	・定期考査	・ワークシート	・観察 ・練習態度
	器楽ギター	【ギター弾き語り】 メリーさんの羊、日曜日よりの使者 ・基本姿勢 ・各部品の名称 ・TAB 譜面の読み方 ・コード、フレットの押え方 ・伴奏のヴァリエーション 【楽典】 コードネーム、音名	a:ギターにおける基本的技能・知識を身につけ、楽譜を見て演奏することができる。 b:基礎的なストローク演奏からカッティングや伴奏のリズムを自分なりに工夫し演奏披露することができる。 c:ギター演奏に自主的に取り組もうとしている。アンサンブルでは仲間に声を掛け合いながら教えあおうとしている。	・実技テスト(読譜) ・定期考査	・実技テスト(演奏の工夫、テクニック、アンサンブルの技巧)	・観察 ・アンサンブル練習
	鑑賞	【オーケストラ】 「シンフォニックゲーマース」 「バルトーク管弦楽のための協奏曲」 「都響　楽器紹介」	a:　その時間に学んだ楽語やキーワードを使用できている。 b:テーマに沿って自分の考えをまとめ、レビューとして書くことができる。 c:主体的に鑑賞記録の用紙に沿って曲名や作詞者など書き写されている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・鑑賞態度
2学期	歌唱	【若者のすべて】 ディスカッション、実技テスト 【合唱　年代別ヒットソング】 グループディスカッション、授業内発表 【楽典】 音価、強弱記号、繰り返し記号	a:　楽譜に書かれた演奏指示をよみとり、正しい演奏順で歌える。 b:歌詞表現から曲想を感じとり、自己のイメージや意図をもって表現を創意工夫している。 c：主体的、協働的に歌唱練習・発音聞き取りに取り組んでいる。	・実技テスト(読譜) ・定期考査	・実技テスト(強弱表現の工夫) ・ディスカッション	・観察 ・グループ練習態度
	鑑賞	【歌謡曲からJpopへの歴史】 教科書掲載の曲を中心に100年間の歴史を解説・鑑賞	a：時代ごとの社会背景や流行、テクノロジーについて流れを知り、当時のヒットソングについて知	・定期テスト ・ワーク	・定期テスト ・ワーク	・観察 ・提出内容

			る。 b:課題内容に沿った内容で、自分の意見を交えて回答している。 c:主体的に鑑賞記録の用紙に沿って曲名や作詞者など書き写されている。	シート	シート	
3学期	創作	【カトカトーンを使って作曲しよう】 ・作品作り ・自作品の表現の意図や曲紹介をする 【楽典】 ・拍子記号、日本の伝統的な音階	a:日本の伝統的な音階の仕組みと変拍子のノリを理解し、創作に生かすことができる。曲の制作過程で自分なりの工夫をし、完成度を高めることができる。 b: 日本の伝統的な音階の仕組みと変拍子のノリを理解し、創作に生かすことができる。グループで息の合った演奏をめざし、演奏練習する。 c:アプリを使った創作に自主的に取り組もうとしている。表現の意図と試行錯誤しながら、作品の完成度を高めることができる。	・ワークシート ・作品の完成度（拍子記号、音階について）	・観察 ・作品の完成度（作品の工夫） ・自作品の表現の意図、曲紹介	・観察 ・作品および演奏発表の完成度 ・振り返りシート ・作曲構想シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度